

図書館協議会委員からの事前質問回答票

令和6年度第1回図書館協議会

No	質問	回答
(1) 令和5年度主要事業及び利用状況について		
1	P22の貸出者数について 1) 年齢が上がると増えていく傾向が見られます。これは、取手市にお住まいの人の年齢分布が反映されているからでしょうか？それとも他の自治体でも見られる一般的な傾向なのでしょうか？ 2) 特に取手戸頭図書館は戸頭図書館は7～12歳の貸出者数が多いですが、何か理由があるのでしょうか？	1) 取手市は近隣に比べても高齢化率が高く、利用率が一番高い年齢層が70代で28.1%です。近隣市町村においても、人口割合の高い高齢者層の占める割合が高い傾向にあります。60才以上者の割合を近隣と比較すると、取手市が55%と一番高く、神栖市、筑西市が45%、40%と続く状況でした。なお、高齢化率が低めの守谷市、神栖市では40代の貸出者の割合が一番多く、27.5%、18.7%でした。 2) 取手図書館・ふじしろ図書館・戸頭公民館図書室は、他の公民館図書室（小文間・寺原・永山・ゆうあい）と比較して、児童書の蔵書数も多く（P29（1）館別蔵書冊数）、特に週末や休日には、常に多くの親子が訪れ、多くの絵本や児童書の貸出があります。各公民館へ予約図書の配送を行っていますが、子どもたちも、「大きな図書館に行きたい」「実際に見て本を選びたい」ということではないかと推測します。
2	P23①小学生の図書館利用状況について 1) 白山小学校と戸頭小学校、そして六郷小学校と宮和田小学校は、登録者数が減っているにもかかわらず個人の貸出冊数が増えています。1. 2) の質問と関係するかもしれませんが、何か理由があるのでしょうか？ 2) 逆に桜ヶ丘小学校は登録者数が1名増えています。個人の貸出冊数が激減しています。何か理由があるのでしょうか？	1) 学校司書が先生方との連携を強化しており、調べ学習等、授業で図書が活用されています。白山小は1, 2年生、宮和田小・六郷小は全学年が授業時間内に定期的に図書室を利用できるよう時間設定をしています。戸頭小では古い本を整理し、本の表紙を見せて展示したことで、子どもたちが本を手に取りやすくなりました。多彩なイベントも行われており、「プラスワンチケット（もう一冊借りることが出来るチケット）」（戸頭小・宮和田小）、「しおり」のプレゼント（戸頭小・六郷小）などが行われています。藤代中も利用が伸びており、どんな本がお楽しみの「福BOOK」や、おすすめ本の紹介を書いてもらい展示する「押しBOOK」などのイベントを行っています。また、職員室での図書の展示も行っており、生徒・教員間での口コミで借りられることもあったということです。 2) 学校司書の異動、レイアウト変更の作業、システム不具合が重なったことで、他校のような授業での活用やイベントの実施ができなかったことから、貸出冊数が減少となりました。
3	学校図書館別利用状況（p. 23） 桜が丘小学校R4-R5、-11, 021冊 他校にはない数値ですが何か理由があるのでしょうか？	N02. に同じ

4	P20 「登録者の推移」で令和4年度までは4年間、43000～47000程度だったのに、令和5年度は37000に急に落ち込んでいるように見えます。この原因には何か考えられるのでしょうか。	令和5年度は、小中学校の卒業生を含む長期未利用者の登録データを削除したため、全体として約10,000件の減少となりました。長期未利用者のデータ削除については、今後毎年実施を予定しています。 なお、新規登録者数は令和4年度1,344件、令和5年度は2,261件となっています。
5	入館者数の相違について H30～R5、R4取手82↑以外はふじしろ図書館の方が多いいのはどうしてか？	ふじしろ図書館は、貸出者数・貸出冊数ともに取手図書館をやや下回っておりますが、視聴覚資料（CD・DVD）の充実や児童向けイベントが多いことから、入館者数が取手図書館よりも多いのではないかと考えられます。 なお、令和4年度、ふじしろ図書館は空調設備改修工事のため約1ヶ月休館しており、このことが入館者数にも影響したと考えられます。
(2) 令和6年度事業計画及び予算について		
6	P6の①の最後の「・」について 「保護者自身の読書への興味・関心を高めるために」、ここに書かれていること以外で有効な方法はお考え、あるいは誰かが指摘しているのでしょうか？保護者が読書に関心があっても子供がスマホばかりいじっている、ということもございます。	教育委員会では毎年、教育委員会の権限に属する事務の点検評価を実施しています。点検評価委員や教育委員より、令和5年度末の会議にて、学校司書の皆さんが様々な工夫をして図書室づくりに努力している状況を、保護者の皆さまに周知することや、「ほんくる」の活用、「身近な公民館で出来る貸出・返却サービス」をもっと知っていただくよう、広報とりでや教育委員会ホームページでの掲載を求められました。 今年度6月1日号の広報とりでにて「子どもたちへ読書の楽しさを：ほんくるを使ってみよう！」として、保護者・親子に向けた記事を掲載し、併せて保護者宛メールツール「Home&School」にて配信しました。また今後、夏休み期間中の学校司書研修にて、市内の学校図書館の取組を勉強するための研修に図書館職員も同行し、当日の様子を教育委員会ホームページ等へ掲載することで、保護者の皆さまへ周知を図る予定です。
7	P22 「貸出者数」の年齢比率は50歳以上が多く、50歳以上で70%を超える。 高齢者の図書館利用が活発で良いと思う。その反面、高齢者に比較して、小学校（4.6%）中学校（0.8%）高等学校年代（0.5%）の利用率は非常に低いと思う。どこの市町村でもそうなのだろうか、と思いました。市町村図書館で小中学校の子ども達の利用が多く活発な所があったら紹介してほしい。 また、その取り組み等を見習ってみたいと思いました。	近隣自治体の年齢別利用率を確認したところ、いずれの自治体も、50歳以上の利用割合が小学生、中学生、高校生の利用割合を上回るものの、取手市はその傾向が強いことがわかりました。 今後は、市内関係部署や図書館関係団体等とも連携しながら、こども読書週間や学校の長期休み中などの機会を捉えたイベントの拡大や、魅力的な図書の選書、配架、展示、それらの周知に努めて参ります。
8	5/26実施の「がんについての情報講座」については、学校関係者、特に養護教諭の参加はどうでしたか？	「がん」という少し重いテーマでの講座でしたが子どもから高齢者まで幅広い年代の方に参加（約45名）をしていただきました。 参加者の職業の把握まではしていませんが学校関係者の参加は見られました。 （学校図書館司書）

(3) その他の質問事項

9

前回の会議（3/26）で報告のあった、取手駅西口A街区再開発ビル内複合公共施設整備事業での「新図書館」について新しい情報があればお聞かせ願いたい。

現在は、3月26日に都市整備部より報告させていただいた「図書館等複合公共施設整備方針」の内容を、詳しく説明するための基本構想の策定作業を進めている段階です。

今後は、市民や図書館利用者等のご意見を広く聴取していくため、基本構想(案)に対するパブリックコメントの実施や、基本計画（基本構想策定後に策定予定）の検討段階における市民等に対するアンケート調査等を行っていく予定です。

図書館としましては、ボランティア団体の方々や、他市町村の図書館、図書関連事業者等にご意見を伺うなど、現段階において出来ることを進めている状況ではありますが、魅力的かつ利便性の高い新図書館の整備に向け、都市整備部と連携を密にし、一体となって検討を進めていきたいと考えております。

なお、7月からは都市整備部と共同で、利用者様向けに「こんな図書館（複合施設）がいいな」アンケートを実施しております。1日あたり1～2件程度ご意見をいただいております。「素敵な図書館が出来ることを楽しみにしている」といった、新図書館に期待する声をいただいている状況です。